

1 学校として目指す授業

主体的・対話的な学習活動を工夫し、授業のユニバーサルデザインを意識して「分かる」「できる」授業を目指す。また「個別最適な学び」と「協働的な学び」をすすめ、基礎・基本の定着と深い学びの実現を図る。

2 生徒の現状

(1) 「全国学力・学習状況調査」の分析（中学校 3 年生）

学力・学習状況調査の分析	生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査の分析
・各教科の全領域で国の平均を上回っており、特に国語では「情報の扱い方」「読むこと」において、数学では「数と式」においてそれが顕著である。 ・どの教科においても、各問題形式（選択式・短答式・記述式）において、いずれも国の平均を大幅に上回っている。特に、国語では選択式、数学では選択式と短答式の正答率が前回よりも著しく向上している。	・前回の調査より、自己肯定感が高い生徒が増え、全国平均を上回った。また友人関係に満足している生徒が増加し、全国平均を上回った。 ・話し合う活動や発表，課題解決に向けた取組は全国平均を上回っているが、やや減少傾向にある。 ・ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器の活用について，全国平均を下回っている。

(2) その他の資料を活用した分析

活用した資料名及び分析結果
東京都統一体力テストの合計得点は、1 年生女子・2 年生男子を除き、全国の合計得点を上回っている。本校の課題は、1 年生男女・2 年生男子の持久走である。授業導入時のランニングや長距離走の授業づくりを保健体育科で組織的に取り組み、工夫・改善に努める。

3 生徒の学力・学習状況等の課題

・話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりするとともに、工夫して発表する力を身に付けさせる。その際、ＩＣＴ機器等を活用する機会を更に増やす。 ・将来の夢や目標と関連付けながら、自ら課題を設定し、その解決に向けて自分で考え、主体的に取り組む力を身に付けさせる。 ・多様な考え方に触れ、自分と違う意見について考える機会を更に増やす。
--

4 学校全体の授業改善の視点

以下の力を育てることに努める。 ・自ら課題を設定し、その解決に向けて自ら考え、主体的に取り組む力 ・多様な考え方に触れることで、自分の考えを深め、1 人 1 台端末を利用し、工夫して発表する力
--

【授業改善推進プランの活用法】
①「1 学校として目指す授業」を設定する。 ※学校経営方針との関連を確認すること。 ②「1 学校として目指す授業」に関する各種調査の特徴的な課題を「2 生徒の現状」に、まとめる。 ③「2 生徒の現状」を基に、学校全体の課題を焦点化して、「3 生徒の学力・学習状況等の課題」にまとめる。 ④「3 生徒の学力・学習状況等の課題」を基に、「4 学校全体の授業改善の視点」を設定する。 ⑤「4 学校全体の授業改善の視点」を基に、「5 各教科における授業改善の方策」を設定する。 → <u>学校指導課へ提出する。</u> ⑥12月末に実施状況を評価し、3 学期以降の指導に生かす。 評価 ◎...実施した。 ○...一部実施した。 △...未実施

5 各教科における授業改善の方策

	国語	評価	社会	評価	数学	評価	理科	評価	音楽	評価	美術	評価	保健体育	評価	技術・家庭	評価	外国語	評価	道徳	評価
1 学年	・思考や表現の型を身に付け、自分の意見を発信するなど主体性を身に付ける。		・課題解決的な学習を通じて生徒の主体性や思考力を育む。また、ＩＣＴの活用や協働的な学習を行っている。		・習熟度別少人数授業や、1人1台タブレットの利点を生かし、主体的に考えるための基礎基本を確実に身に付けさせる。		・授業で基礎知識を習得させる。実験にて得られるべき結果を予想、得られた結果と予想との比較考察・検証を行う作業をルーティン化し、主体性、思考力、判断力、表現力の向上を目指す。 ・ICTを活用し実験及び学習内容の復習を徹底する。		・指導者用デジタル教科書、TeamsなどICTの活用を推進していく。		・ICTやワークシート等を活用し、実技の基礎的な知識・技能を習得し、作品発表会や鑑賞の授業を通して思考・判断・表現の力を育む。		・授業の導入時のランニングの距離を200m程度長くしたり、運動量を多くしたりし、全身持久力向上に努める。		技術：課題を設定し、その課題に解決に向けて取り組むように工夫する。家庭：学習したことを家庭で実践する場面を作り、基礎の定着を図る。		ライティングノートを活用しながら基礎を重視するとともに、スピーチ等の表現活動を通して自主的に取り組む態度を育てる。		・物語に触れたり、話し合いをしたりする中で、多面的・多角的な道徳的価値に触れ、自らの考えを深める態度を養う。	
2 学年	・目標を理解し、ICTを活用して他者の意見に触れながら自分の考えを深める力を養う。		・探求学習をベースにした協働的な学習を通して、自ら課題を設定し、その解決のための思考力や判断力を中心に養う。		・証明問題等を通じて、論理的思考力を身に付けさせる。ＩＣＴを活用して主体的に学ぶ態度の向上を図る。		・探究学習を通じて、自ら課題を設定し、その解決に向けて実験計画を立て、取り組む態度を育む。		・指導者用デジタル教科書、TeamsなどICTの活用を推進していく。 ・グループ活動を通し互いに学び合う。		・課題から自らテーマを発想し、作品の構想を練り、制作する。作品を互いに発表・鑑賞し、自他の感じ方の違いを知る。		・授業の導入時のランニングの距離を200m程度長くしたり、速いペースで走ったりし、全身持久力向上に努める。		技術：身近な課題を見付けて、解決しようとする力を養う。家庭：コロナ禍で調理実習の体験がない生徒のため、衛生・安全に配慮する意識を高める。		音声を中心に、基本的な内容を繰り返すことで基礎力を付け、パフォーマンステストを通して表現力を高める。		・多様な考え方に触れることを通して、物事を多面的・多角的に捉える力を身に付け、自身の課題解決に取り組む態度を養	
3 学年	・話し合いや相互評価、振り返りを通して、他者の意見を聞き自分の考えを更に深める力を養う。必要に応じてICTを活用し、発信する力を身に付ける。		・課題解決的な学習を通じて、協働的な学びを推進し、生徒の主体性や思考力の向上につなげる。		・既習事項を生かしたり、ICTを利用しながら自力解決能力を高める。また、他者の考えをもとに自分の考えを深化させる。		・ICTを活用し、協働的な学びを推進する。単元ごとに振り返りを行い、既存の知識や自己の考えの変容を自覚できるようにする。		・指導者用デジタル教科書、TeamsなどICTの活用を推進していく。 ・歌詞の内容や曲想に沿った表現の工夫を生徒に考えさせ、グループ活動を通して共有・吟味させることで質を高めていく。		・2年間で学んだ知識・技能をもとに、課題に対し、自分の制作意図を明らかにし、自由に作品制作を進められるようにする。		・運動部活動等の活動を引退してから、体力低下を防ぐために、体づくり運動の授業を通じて、個々の目的に適した運動計画を立て、実生活に生かす取組を推進する。		技術：問題解決に向けて取り組み、これからの社会に通用していく力を付ける。家庭：持続可能な社会を目指し、衣食住消費を見直す機会を設定する。		教科書本文や「模擬トレ」を活用し、長文読解力を高める。本文要約やリテリングの練習を積み重ね、英作文の力を伸ばす。		・物語に触れたり、議論したりすることで多面的・多角的な道徳的価値について深く考える態度を養う。	